

# ヒロシマ ユネスコ

## 「わたしの平和宣言」

- すべての人の生命を大切にします
- どんな暴力も許しません
- 思いやりの心を持ち、助け合います
- 相手の立場に立って考えます
- かけがえのない地球環境を守ります
- みんなで力を合わせます

# 第三回広島ユネスコ 活動奨励賞 受賞者決まる

## 学校部門二校、社会部門五団体を 一月二十七日に表彰式

国際平和文化都市・広島市の国際活動を支える地域、学校の優れた活動(国際理解、国際協力、国際交流)を顕彰する広島ユネスコ活動奨励賞(広島市教育委員会後援)は、第三回を迎えて十一月二十日に公募を終え、十二月九日に行われた審査(委員長/広島大学院国際協力研究科長中山修一教授)で学校部門二校(応募二校)、社会部門五団体(応募十四団体)が賞に選ばれました。

学校部門では、広島市立深川小学校(田部明雄校長)、広島市立舟入高等学校(福原紘治郎校長)の二校が、また、社会部門では、ひろしまと世界を結ぶ子ども文庫(柴田幸子代表)、広島ホームステイ協会(茶幡隆之代表)、真亀日本語教室(井内吉孝代表)、モンゴル・ツエツエグ(小川順子代表)、H O P E(河村譲代表)の五団体です。

なお、審査では、活動の創意

性、事業および活動の効果、継続性、活動参加度、ボランティア度、発展性(今後への期待度)などの点で評価が行われました。

**ユネスコ新春  
フェスタ二〇〇一**

日時/二〇〇一年一月  
二十七日(出十四時)

会場/広島アンテルセン

内容/○広島ユネスコ活動  
奨励賞表彰式、講  
評、賞状、楯授与、  
活動紹介

○トークと男声合唱  
出演/天野守信氏  
(指揮者)と  
崇徳高等学  
校グリーク  
クラブ  
ラゴB  
記念パーティー

## 大邱・広島ユ協 姉妹提携に関する報告

前号で韓国大邱ユネスコ協会と姉妹提携締結についてお知らせ



受賞者の表彰式は、恒例になつた「ユネスコ新春フェスタ二〇〇一」の中で行われます。(写真は前回のフェスタの模様)

せしましたが、大邱協会報十月号が同協会宋千済常任理事から事務局に郵送されました。同会報では、「大邱・広島・ユネスコ協会結縁協定」特集が詳細に掲載されていますが、ここではその一部を紹介します。

△六月十七日、両会長をはじめ大邱協会幹部三名、在広島韓国総領事、広島市の関係者及び広島ユネスコ協会会員など四十四名が参加して、姉妹結縁協会協定書調印式が広島アンテルセンで挙行された。調印式前に韓国総領事はご挨拶の中で「平和の発展のために、将来は北朝鮮とユネスコ交流を望んでいます」と述べられ、また全達出会長の挨拶(安徳煥副会長)で「両協会は手を結んで平和の道を進み、平和の文化創造の第一歩にしていきたい」、また北川建次会長は「平和の文化を築きつつ、文化、教育、青少年の交流を進めて、友好親善を深めていきたい」と決意を表されていた。

代表団は、十六日、大韓民国、広島原爆犠牲者慰霊碑に献花し、十七日、秋葉忠利広島市長(広島ユ協顧問)を表敬訪問したあと、厳粛で素晴らしい協定調印式に参列した。▽

なお、当協会では、今後、大邱市、韓国との交流を深める講座を二〇〇一年半ばに予定しています。大邱親善訪問等も検討しています。皆さんには、計画が決まり次第、詳しくお知らせすることになっていきます。

# 二〇〇〇年度中国ブロック ユネスコ活動研究会

## 二月、宮島で開催

毎年、全国九ブロック毎に開かれていたユネスコ活動研究会が、本年度は広島で開催されることになり、現在、当協会では推進委員会が実施に向けて準備を進めています。

中国五県のユネスコ会員が一堂に集まる研究会は、例年、充実した研究と交流の場となっており、その成否は迎え入れる地元協会の会員の協力と多数の参加がカギを握っています。

今回、広島が受け入れるにあたって国内唯一、県内に二つのユネスコ世界遺産を有することから研究会のテーマを「世界遺産活動の地域展開」とし、開催会場は厳島神社のお膝元、宮島町に決定いたしました。

この趣旨に沿って研究会の講演には文化人類学、民族・民俗学、また世界遺産の碩学、広島市立大国際学部川田順造教授を講師にお招きします。講師の歴史と人間に対する鋭い洞察力は「必聴」に値します。また、「門外不出」の厳島神社宮司にも講師をお勤めいただきます。研究

会日程等は次のとおりですが、参加方法等の要項を会員には追って届けます。

▽期日 二月十七日(土)

十三時半～十八日(日)正午

▽場所 佐伯郡宮島町国民宿舎

みやじま杜の宿

▽日程/第一日

・開会式

・基調講演/日ユ協連 村井了理事長

・全体会議(事例報告)

・記念講演/世界遺産と

第二日

・国内委員報告

・講演/厳島神社/厳島神社野坂元良宮司

・希望研修/厳島神社

・展示/写真パネル

「宮島」(船附理人氏)

▽会費 二千元

▽交流会、宿泊は別

▽主催 日ユ協連、中国ブロック・ユ協、広島県ユ連、広島ユ協

▽主管 広島ユネスコ協会

▽後援 広島県教委、広島市教委、宮島町、宮島町教委、厳島神社

世界史の実像(仮)  
広島市立大国際学部  
川田順造教授

第二日

・国内委員報告

・講演/厳島神社/厳島神社野坂元良宮司

・希望研修/厳島神社

・展示/写真パネル

「宮島」(船附理人氏)

▽会費 二千元

▽交流会、宿泊は別

▽主催 日ユ協連、中国ブロック・ユ協、広島県ユ連、広島ユ協

▽主管 広島ユネスコ協会

▽後援 広島県教委、広島市教委、宮島町、宮島町教委、厳島神社

## わたしの平和宣言

### 1万人余の署名集まり 当初の目標を達成

国連が定めた二〇〇〇年の「平和の文化国際年」の一環として世界的にくりひろげられている「わたしの平和宣言」署名運動については、前号でお知らせしたとおりです。広島ユネスコ協会も、日本ユネスコ協会連盟のもと、署名運動を展開し、皆さんの協力により、大きな成果をあげることができました。今回の当協会の目標は、一人の署名を集めることとしていましたが、八月末を締切りの日として集計した結果、一万七百

七十四名の署名となりました。早速、これらの署名は、日本ユネスコ協会連盟に送付しました。協会連盟は九月初旬に、ユネスコ本部(パリ)にこれを届け、世界中で集められた署名と一緒に国連総会に提出されました。皆様のご協力に感謝いたします。署名協力者はつぎのとおりです。

### 署名協力者

(敬称略)

△学校等▽吉島幼稚園、本川小、宇品中、広島ろう学校、大下学園祇園高校、広島工大附属高校、神戸市立工業高等専門学校、安佐南区PTA母親委員会、安佐北区PTA母親委員会、宇品中学校PTA、I W A D女子技術学院  
△団体▽広島市民生委員児童委員協議会、広島市交通科学館、広島オマール会、嘉屋日米交流協会、日中友好の輪を広げる会、立正佼成会、金光教  
△企業▽朝日生命広島支社、景田法律事務所、西日本キオスク、創元社、広島信用金庫、藤井インフォメーション、横山病院

△会員▽赤松和彦、足立柳子、井尾義信、和泉美佐保、伊東亮三、上橋穂留、岡本宏陸、奥田治世、奥中正之、梶井朝子、梶井清子、加藤明一、亀井章、北川建次、北沢松子、木村進匡、国田繁、小西清彦、柴田幸子、坂倫子、佐々木肇、篠原喜八郎、末重文男、曾根田敏明、太鼓矢晋、高橋昭博、竹沢臣子、田丸富久枝、永井滋郎、長迫凱朗、永田龍男、中谷美保子、平井勇、中原義光、中山修一、新川貞之、平岡豊恵、平田昭男、平田富美子、廣田昭子、藤井正一、藤井孝行、古田碩水、松尾昭彦、松岡盛人、松田順子、松原博子、松村義雄、溝口二郎、光田外、本原浩美、山村いさえ、山崎芳彦、大和喜久男、山本隆信、由田千鶴子

### 署名活動にとりくんで

和泉美佐保

署名が始まった時、私は十数名の方と話をしました。「すべての人の生命を大切にします」ではじまった平和宣言、内容に共感する人は多くいました。「だれか行動を起こす人がいないと何も始まりませんね、頑張ってください、応援しますよ...」職場の会報で訴えたり、ひとりひとりに説明して回ったり...して下さる方も出ました。三十人、五十人、二百人、五百人、...。範囲もJ R西日本、ヤマハ英語教室、国泰寺高校某学級、敦煌等中華料理店、近所の方々に及んでいました。

人間としての基本的なことを訴えた内容の確かさと、十数名の方のお力添えがあったからこそと思っています。

たまたまこの署名の期間中、中国で、数人の高校生と話す機会に恵まれました。平和宣言についても話しました。直接言葉が通じなくても気持ちは通じ合え、彼等の真剣な眼差しに圧倒されたと同時に、久しぶりに爽やかな気分を味わって帰りました。署名を通じて多くの人々の善意を感じることができたように思います。(会員)

# 「21世紀の子どもたちへ」展、二月に開催

ユネスコは二〇〇〇年の今年、「平和の文化国際年」と定めて「わたしの平和宣言」署名にとりくみましたが、新世紀が始まる二〇〇一年から二〇一〇年までの一〇年間を「世界の子どもたちのための平和の文化と非暴力の一〇年」として運動が展開されます。

広島ユネスコ協会では、この運動の幕開けに際して、市民グループから提起された企画をもとに「21世紀の子どもたちへ」アウシュヴィッツからヒロシマへ」展を開催します。

同展の副題に掲げたアウシュヴィッツ、ヒロシマ(原爆ドーム)は、共に戦争の惨禍を語る証言者であり、平和を求める声の発信源でもあります。21世紀の始まりの時、二つの「負」のユネスコ世界遺産が世界平和を実現するうえで果たし得る役割を今一度見つめ直し、歴史の教訓を次の世代へ継承する場を提供しようという企画です。

展示物は記録写真が核。①原爆ドームの写真(戦前、被災直後、定点撮影のドーム周辺など)絵画(児童画、四国五郎氏画等)②アウシュヴィッツ関連(ホロコースト教育資料センター所有

「ホロコーストで消えた村編」

「アンネの生涯とホロコーストの歴史編」アウシュヴィッツに到着したユダヤ人編」。児童図書など。ビデオ再生は「ユダヤ人ダニエルの話」「八月六日」。

朗読と演奏は市民グループ「つゆくさ」による「生ましめんかな」など原爆文学作品等の朗読と演奏を予定しています。

日程などは次のとおり。

【期間】 二月十日～十八日

【会場】 広島原爆資料館東館地

【下展示室(平和公園)】

【主催】 広島ユネスコ協会、つゆくさ、同展実行委員会

【共催】 広島市、広島平和文化センター

【後援】 広島市教育委員会ほか

## サロン現地講座

### 朝鮮通信史の通過地 下蒲刈島を訪ねて

梶井朝子

広島ユ協では、十月二十三日、今年度三回目となる現地サロン

として、瀬戸内の下蒲刈島を訪ねました。これは、今年大邱ユ協と姉妹協会締結したのを機に、日韓交流の足跡をたどる一環として、江戸時代の朝鮮通信

史の通過地、下蒲刈町の交流史を学ぼうと計画されたものです。この日は、秋晴れのよい天気。参加者二十九名で満員のバスが、昨年開通した安芸灘大橋を渡ると、さらさらと輝く瀬戸内海が目に飛び込んできました。全島庭園化事業を進めている島とのことで、島内も緑あふれる美しさです。

「松濤園」にある朝鮮通信史の資料館「御馳走一番館」で、下蒲刈町文化財保護委員長の柴村敬次郎氏を講師にお話を伺いました。朝鮮通信史が来日するようになった歴史的背景やその意味を教わり、鎮国中の江戸時代にこのような大行事が行われていたことを初めて知り驚きました。

一六〇〇年～一八〇〇年代に十二回(内十一回瀬戸内海通過)にわたって、一度に六隻の船で四百人～五百人もの人数で訪れる通信史をどのように迎えるか、いかにもてなしたかなど、当時の様子を思い浮かべながらお話を伺いました。米や味噌、醤油などの量まで書かれた「ご馳走材料一覧表」にはびっくり。こんなに細かいところまで決めて準備されていたのだとお客様をお迎えする側の苦労を思いました。

その後、松濤園内にある「あかりの館」「陶磁器館」「蒲刈島御番所」を見学。これらの建物

は、富山県や広島県宮島町などから旧邸を移築復元したもので、重厚なたたずまいに歴史の香りが感じられました。それから全国的にも珍しい木造建築の美術館「蘭島閣美術館」にも足をのぼし、総檜造りの落ち着いた館内で美術鑑賞を楽しみました。

帰りには、朝鮮通信史の方々大変好まれたという「忍冬酒」と島のみかんをおみやげにして、盛りだくさんの現地サロンは終わりました。(会員)

## ユネスコ青年部の発足に向けて

國田 繁

青少年施設の利用グループを見てみると、その大半は演劇とダンスです。将来、役者やダンサーに憧れ、それを目指している若者が増えてきた現れでしょう。また、一方で八月六日の平和記念式典に広島市青年連合会が中心となって実施している「おしほりサービス」があります。これはボランティアによって行われているもので、毎年、公募によって約百名近い応募があり、非常に関心が高いことが伺えます。

現在、広島ユネスコ協会として、あらゆる機会を通じてPRし、組織強化を図ってきていますが、思うように進んでいませ

ん。当協会をもっと魅力あるものにし、もつと若者たちが参加しやすいような雰囲気づくりをしていく必要があります。

当面は、青少年施設などにお願ひし、利用している青年達に積極的に呼び掛けて、月一回のユネスコサロンなどに参加していただき、青年の意見を聞きながら理解を得るとともに、青年部の発足に努めていきたいと思っています。

みなさんのご協力をお願いします。(理事)

## 「国際交流・協力の日」(International Day of Intercultural Dialogue)参加を

広島ユネスコ協会は、来年(二〇〇一年)一月十四日(日)に開催される「国際交流・協力の日」(広島平和文化センター、国際協力事業団中国国際センターなど四団体主催)に、展示を中心に参加します。展示物は世界寺小屋運動パネルを中心とし、当日は、作家の曾野綾子さんが「世界の中の日本」と題して講演されます。

この催しには、十団体が国際交流や協力の事業を展開したり、多くの団体展示があります。会員の皆さんもご参加を。  
日時/二〇〇一年一月十四日 (日)午前九時半～午後五時  
会場/広島国際会議場

# 「へあせろへ」で国際交流

十月八日(日)、ハノバー庭園で市民ボランティアによる実行委員会、(財)広島国際文化財団、(財)広島平和文化センターの共催で「へあせろへ」が開催された。

広島ユネスコ協会は今年も参加し、松本興二郎さんの指導による風づくり、安佐町のおとし

よりによるわらざうりづくり、宇根利枝さんによるリサイクル

作品づくり、山村いさえさんによる風せん創作づくりや竹トン

ボなどの竹細工、シャボン玉づくりなどの催しを行った。松本

興二郎さんなど指導して下さる方々は毎年、ボランティアで気

持ち良く協力してもらっている。

今年はその日、早朝に雨が降り、実施ができるかどうか心配したが、開催時間の前には雨が止み

なんとか実施できた。例年、会場が中央公園であったが、今年

はハノバー庭園で行った。会場が変ったせいか、参加者が少し

少ないように思えた。

しかし、実行委員会はFMひろしまPステーション公開放送

を会場の中で実行したり、多文化に出会えるブースではアジア

やラテンアメリカなどいろいろな国・地域の料理を味わえるも

のや、その国のめずらしい雑貨が買えるものがあったり、午後

にはブラジル五百年を祝う情熱

協会連盟が作成したパネル二十枚でわかりやすくユネスコ世界

寺小屋運動を説明した内容やベトナムのストリートチャイルド

ハウスの子どもたちの生活などを紹介しているものです。

「ユネスコ世界寺小屋運動」とはひとりでも多くの人が教育

を受ける機会を得られるように、発展途上国の人たちと協力

して子どもたちや大人への「学びの場」寺小屋」をひろげなが

これは社団法人日本ユネスコ

的なラテンダンスのパフォーマンスが通路で披露され、世界や日本のさまざまな文化に触れ、盛り

上った楽しいイベントであった。広島ユネスコ協会の催し内容

は例年の内容ではあるが、小学生から高齢者まで楽しめるの

で、参加者の中には前回来られた人もいて、「また、楽しませ

てもらおうよ」と感謝の声が聞かれた。スタッフは大いに喜んだ。

スタッフ自身もいつものメンバーであるため、気心も知れ、

このイベントが済んだ後、みんなで慰労の小旅行をすることが

決っている。来年も元気でこのスタッフを中心に多くの会員が

へあせろべに集まり、ユネスコ活動の啓発・理解活動に尽力していくことを誓い合った。

(理事・藤井孝行)

ら共に生きる世界をつくっていく運動です。

## 8・15平和の鐘鳴り響く

国連「平和の文化国際年」の記念事業第二弾として、八月十

五日正午、全国のユネスコ協会と協同歩調をとって、平和公園

内の「平和の鐘」を鳴りひびかせました。

これは、日本ユネスコ協会連

盟の呼びかけで、平和の文化国際年記念事業の一環として行われたもので、当日は十名の会員が参集いたしました。

「心の中に平和のとりでを築く」ために、一人でも多くの会員がこのような事業に賛同して

いただければ、と思います。この事業は、来年も行われる

予定(日本ユネスコ協会連盟)となっております。

## 日誌

〈7月〉

22日○第94回ユネスコ・サロン

「韓国と日本」―李東碩／

広島大助教授

○理事会

25日○機関誌第49号発行

〈8月〉

4日○わたしの平和宣言署名活動(広島国際会議場催し)

15日○平和の鐘(平和公園)

21日○文化部会

31日○「わたしの平和宣言」署名

1万人目標達成

〈9月〉

13日○文化部会

16日○第95回ユネスコ・サロン

「大学キャンパスの設計・建築」―日高卓三／

建築家

○理事会

23日○「21世紀の子どもたちへ」推進委員会

〈10月〉

8日○第17回へあせろべ

11日○中国ブロック研究会推進委員会

19日○組織部会／昔年組織対応

24日○第96回ユネスコ・サロン

現地講座「朝鮮通信使」／柴村敬次郎・下蒲刈町文化財保護委員長

30日○コチアン弦楽四重奏団公演(後援)

〈11月〉

8日○世界寺小屋パネル展／井口公民館、120日まで

14日○広報部会／機関誌次号案

20日○広島ユネスコ活動奨励賞

公募締切り

21日○「21世紀の子どもたちへ」推進委員会

25日○第97回ユネスコ・サロン

「世界遺産スケッチ探訪」北田和廣／光風会

○理事会

29日○加藤朗一顧問出版記念会

29日○国際交流・協力の日実行委員会

〈12月〉

6日○中国ブロック研究会推進委員会

9日○広島ユネスコ活動奨励賞

審査会